



SUAA

Shimane University Alumni Association

島根大学同窓会連合会 機関誌

March.2010 Vol.4

島根大学同窓会連合会事務室

〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学附属図書館1F
TEL.0852-32-9725 E-mail:suaa@jn.shimane-u.ac.jp

同窓会連合会



島根大学各学部等の同窓会の活動を基本としながら、同窓会が会員相互の親睦のみならず母校島根大学や地域の発展、現役学生の支援などに真にその力を発揮できるよう各学部等の連合組織として島根大学同窓会連合会が設立されてから4年がたちました。

そして、毎年の「SUAA」の発行と島根大学と共催する連合会最大の行事「ホームカミングデー」の三回の開催を経て、次第に連合会の礎が固まる兆しを感じる事が出来るようになりました。

これもひとえに、島根大学および各学部等の同窓会のご支援、同窓会員の皆様のご理解・ご協力の賜物と深く感謝しております。

大学は今、自由化・個性化・多様化や社会・地域に対する積極的貢献などの改革が求められております。母校島根大学も法人化されて六年がたち、これからが改革の真価を問われる重要な時期であると思います。

同窓会連合会といたしましては、このような状況を踏まえ、同窓の絆を礎に各学部等の同窓会と一体となって母校島根大学や地域の発展に貢献してまいりたいと考えています。

会員の皆様の同窓会活動への積極的なご参加とご協力をお願いいたします。

島根大学同窓会連合会会長 江口博晴

活動状況

第3回ホームカミングデーを開催

10月3日(土)に「第3回ホームカミングデー歓迎式典」が完成したばかりの大学ホールで開催されました。ホームカミングデーは、卒業生の皆様に現在の島根大学の様子や教育・研究・医療等の活動状況を理解していただくとともに、同窓生同士の交流あるいは在学生との交流の機会としてもらうために始まったもので、歓迎式典、キャンパスツアー、各学部同窓会主催事業などを実施しました。

歓迎式典では、山本学長及び江口同窓会連合会長の挨拶のほか、各学部同窓会長の紹介の後、「島根大学ホール」と「島根大学60年の歩み」について、スライド上映が行われ、多くの出席者の郷愁に浸る姿が印象的でした。

式典のフィナーレは、本学卒業生で国内外で活躍されているテノール歌手松江 隆司氏〔ピアノ伴奏:笠井 桃子氏〕によるテノール独唱では、旧島根大学歌「緑水たゆたふ」、「誰も寝てはならない」、「愛燦爛」など、全9曲を披露されました。

また、式典終了後には、場所を移して祝賀会が行われました。



挨拶される江口同窓会連合会長



熱唱される
松江 隆司氏

平成22年度活動予定

- 4月6日(火) 入学式(くにびきメッセ)
- 第4回ホームカミングデーの開催
期日/10月9日(土)
- 役員会の開催
平成23年3月
- 機関紙の発行
機関紙「SUAA」第5号の発行(平成23年3月)
- 各同窓会への支援
ホームページの運用支援
- 卒業後の連絡先調査

第4回ホームカミングデーを10月9日(土)に開催します。

詳細な内容は、今後決定していくこととしていますが、例年、歓迎式典、特別講演会、演奏会、各学部同窓会の企画、キャンパスツアー、大学グッズ等の販売などを行っています。

また、当日は松江キャンパスにおいて大学祭(10月8日～10月11日)も実施されていますので、ぜひお越しいただきお楽しみください。



同窓会HP/ <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/>

法文学部同窓会



活動状況

平成21年10月3日(土)、島根大学開学60周年記念行事に併せて、母校の新築なった旧100番教室(新たに「大学ホール」と命名)において、第3回ホームカミングデーが盛大に行われました。同日、ホームカミングデーに先立って、法文学部棟2階多目的室において法文学部同窓会総会を開催しました。東京・関西・広島各支部からも代表が参加し、今回初めて実施された各学部等同窓会合同の祝賀会にも参加、その後は法文学部有志による懇親会が開催されるなど、多彩な充実したホームカミングデーとなりました。(写真参照)

平成21年の主な活動状況は以下のとおりです。

◆法文学部同窓会役員会

平成21年4月25日(土) 於:島根大学

◆同窓会年報「淞春」第4号発刊

◆関西同窓会

平成21年9月11日(金) 於:グリーンプラザ大阪

◆在京同窓会

平成21年9月12日(土) 於:ホテル銀座ラフィナート

◆第3回ホームカミングデー・法文学部同窓会定例総会・各学部等同窓会合同祝賀会

平成21年10月3日(土) 於:島根大学



ホームカミングデー交流会

平成22年度活動予定

平成22年度は以下のような活動予定です。ホームカミングデーをきっかけに同期会開催の動きが広がってきたことを大変うれしく感じています。また、現役学生の皆さんとの情報交換、交流にも取り組んでいきます。

●法文学部同窓会役員会

平成22年4月24日(土) 於:島根大学

●同窓会年報「淞春」第5号発刊

平成22年6月

●同窓会年簿2010年版発刊

平成22年6月

●法文学部同窓会定例総会・

第4回ホームカミングデー

日時:平成22年10月9日(土)

於:島根大学他

同窓生からの近況報告

五十周年同期同窓会(H21.11.13),
嫁が島を目前にして



伊藤 卓爾

文理7期(1959年卒)

昭和34年卒、法律専攻、同期生45名中18名が出席。「鬼界入りの同窓に黙祷!」を捧げ、松江側ホスト前島さんの「神(有月)と共に来る同窓歓迎」の辞、伊藤さんの「元気でオメデトウ乾杯!」にはじまり、賑やかな同窓会は、カラオケも借りきり、深夜まで語り続ける、若き同窓会でした。同日は先立って玉造温泉CC(同期長谷さんが社長を勤める)にて3組のゴルフコンペ;優勝は、同CCメンバーであり、今回同窓会の世話役細田さん。東京から遠距離参加の4名は体力不足が冴えず、などですが、73歳にして完走できることを、雨予報を跳ね除けたことに合わせて、祝杯!でした。来年は関西地域にて開催予定です。



学んだことは必ず生きる

正尺 弘樹

法文8期(1989年卒)

島根大学を卒業して早いもので21年が過ぎました。私は平成元年に法文学部法学科を卒業し、その後岡山大学の大学院で3年間回り道をして、現在、広島県庁に勤務しています。性格を見透かされてか総務系の仕事が多く、法学部出身らしき仕事には無縁の生活が18年続きました。最近、ちょっとした転機が訪れました。私の経歴を知っていた上司が、訴訟を抱えている部署に私を推薦してくれたのです。私の専門は刑事訴訟法でしたが、幅広く科目を履修していたことが幸いし、民事手続を理解することは比較的容易でした。最近、経験を積み重ねてきたせいもあり、「やっていることで無駄なものは何一つないんだ」ということに気づきはじめました。当面は役に立たないように見えても、学んだことは必ずいつか役に立つ時がくる。日々研鑽を積むことの大切さを感じながら、毎日を送っています。



同窓会HP/<http://www.gaku-sei.net/l-douso/>

教育学部同窓会



活動状況

教育学部同窓会本部の今年度の活動方針は「人と居る／人と語る」というテーマのもと、「集い・語り合う」活動を多様に取り入れることに心がけました。

○6月10日＝学部学生（同窓会準会員）対象の「教師力パワーアップセミナー」に模擬面接官として在松同窓会員が参加しました。

今後も同窓会の持つノウハウを積極的に学部提供し、学生諸君のお役に立ちたいと思っています。

○6月13日＝同窓会役員総会終了後、学生による「1000時間体験学修」活動紹介のプレゼンテーションを行いました。

担当の家政教育コース3年、荊尾梨絵さんがよく準備してくださり出席者に共感を持って迎えられました。

○10月3日＝ホームカミングデーの教育学部独自企画として「ラウンドテーブル『育ち』を支えるネットワーク」を行いました。

60名を超える参加者があり、喫茶と軽食をとりながら活発な討議と和やかな語り合いが進みました。



ラウンドテーブル『育ち』を支えるネットワーク

○10月20日＝安来支部を通じて安来市教研公開講演会に後援という形で関わらせていただきました。

高梨敬一郎氏（元NHKアナウンサー）の講演「聞き上手は、話し上手」は教育現場に密着したすばらしいお話でした。

○「同窓会誌」第61号を発行したほか、広報誌「Leaf@同窓会」No.1を創刊しました。

平成22年度活動予定

- 5月 教師力パワーアップセミナー協力
- 6月 役員総会
「Leaf@同窓会」No.2発行
- 10月 ホームカミングデー（10月9日）
教育学部同窓会独自企画
○卒業生・学生・教職員による
パネルディスカッション
交流会
- 1月 「同窓会誌」第62号発行
会員の投稿歓迎
- 3月 常任理事会

同窓生からの近況報告



日本一安全な島根を目指して

安藤 清子
(2002年卒)

私は平成14年3月教育学部生涯学習課程スポーツ科学コースを卒業し、現在、島根県警察本部の女性白バイ隊員（なでしこ隊）として働いています。仕事の内容は、主に白バイに乗って速度違反や携帯電話、シートベルト違反などの交通指導取締りを行うことです。私は大学卒業後、島根県警察巡査を拝命し、警察学校を修了後は交番勤務としてスタートしました。警察官のイメージとして「体力的にキツイ仕事」という感じを持っていましたが、やはりそのとおりでした。そして警察官になり8年が経ちますが、日々仕事をする中で体力にプラスして精神面での強さの必要性を感じるようになりました。また、私が仕事をする上で一つ心がけていることがあります。それは「物事を前向きに考える」ということです。私は、仕事から毎日たくさんの人と接し、いろいろな人と話をしなければなりません。気持ちよく接してくれる人もいれば、大変難しいこともあり、時には人と話すのがイヤになるくらい悩み、苦しむことがあります。そんな時は、「悩んでもしょうがない」、「大丈夫、大丈夫…」と、無理やりプラス思考に持っていくようにしています。この「プラス思考」という言葉は、大学時代に先生や先輩・後輩、そして友人などからいただいた大切なプレゼントでもあります。このプレゼントのおかげで、今まで仕事を続けてこれたと思っています。これからも、いろいろな角度、目線から地域住民の方、あるいは被害者の方はもちろんですが加害者になられた方にも目を向け、その人がどのように感じ、何を考えているのか、相手の気持ちになって接することのできる警察官でありたいと思います。



【第41回全国白バイ安全運転競技大会（茨城県ひたちなか市）
女性の部 第5位入賞】

島根大学教育学部同窓会

〒690-8501 島根県松江市舟橋1-1-1（教育学部内）
TEL: 0854-321-1111 FAX: 0854-321-1112
E-mail: suaa@edu.shimane-u.ac.jp



同窓会HP / <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/edu/index.html>

医学部医学科同窓会



活動状況

本同窓会は本部・中四国・東日本・関西・九州の5支部体制を採っており、輪番で支部総会を開催しています。平成21年は関西支部の番で森山賢治会長(11期)の下、8月22日ホテルグランヴィア大阪で16期岩田健太郎君(神戸大学感染症内科)の教授就任祝賀会を兼ねて行われました。神戸大学病院院長杉村和朗先生(前本学放射線医学教授)、本学発生生物学教授大谷浩先生の御臨席もいただき50名を超える多くの同窓生が集い、夜遅くまで旧交を温めることが出来ました。

大学祭での同窓会企画パネルディスカッションは『先輩からのメッセージ～地域医療の現場から～』と題して、10月18日に開催されました。会場地域医療貢献賞受賞者の中から谷浦博之君(六日市病院院長(2期))と矢野修一君(国立病院機構松江医療センター統括診療部長(4期))に、卒業から今日に至るまでのご自身の貴重な経験を話していただきました。卒後研修の参考としていただくため、大西千恵さん(本学血液内科医員(22期))と青山淳夫君(大田市立病院医員(25期))に、ご自身の経験を話していただきました。平成21年の医学研究・医学教育奨励賞は以下の2名の方々に決定し、それぞれ20万円の助成を行いました。また、地域医療貢献賞として前述矢野君を表彰し副賞を贈呈しました。

島根大学医学部精神医学医員 和気 玲(19期)
「統合失調症における脳血流SPECT研究」

島根大学医学部内分泌代謝内科助教 金沢一平(20期)
「2型糖尿病患者におけるピオグリタゾン、メトホルミンの骨代謝、動脈硬化指標に及ぼす影響の検討」

平成22年度活動予定

- 平成22年8月／九州支部総会(別府)
10月／大学祭パネルディスカッション
11月／医学研究・医学教育奨励賞
地域医療貢献賞公募
- 平成23年3月／同窓会報発行
年次総会
医学研究・医学教育奨励賞
地域医療貢献賞授与式

同窓生からの近況報告



近況報告

零 稔弘

島根医科大学医学科1期(1982年卒)

同窓生の皆様はじめまして、島根医科大学昭和57年卒業(1期生)の零と申します。卒業後、島根医科大学第二内科に入局し、大学、浜田市、雲南市と各病院を経て、平成18年4月から出雲市立総合医療センター(旧平田市立病院)の院長として仕事をしています。多岐にわたる院長の職務の中で重要なことの一つに、医療従事者の確保がありますが、現在医師、看護師確保が非常に困難な時期を迎えています。院長就任以来、医師、看護師確保のことが一時も頭から離れることのない日々です。後輩諸君には卒業後、是非島根に残っていただき、地元島根の地域医療の充実と確立の一員となってくれることを期待し、お願いしたいと思います。(出雲市立総合医療センター院長)



近況報告

内田伸恵

島根医科大学医学科3期(1984年卒)

平成20年に放射線医学講座が大講座制となり、放射線治療を専門とする「がん放射線治療教育学」が創設され、初代教授を拝命しました。「切らずにがんを治す」放射線治療は、手術困難な方や高齢者にも根治的な局所治療が可能で、装置の性能向上や照射方法の工夫により副作用も少なくなりました。放射線治療の需要増加が予測されていますが、専門医やコメディカルスタッフが不足しており、その育成が私の使命と考えています。また女性医師のキャリア継続の一助にと、文部科学省から補助金を得て医学部女性スタッフ支援室を開設し、病児保育やメンター制度など多面的な支援を行っています。

(島根大学医学部がん放射線治療教育学 教授)



同窓会HP / <http://www.med.shimane-u.ac.jp/medicine/alumni.html>

医学部看護学科同窓会



活動状況

看護学科同窓会さくら会は平成22年2月で設立して5周年となり、会員も500名を越すこととなりました。現在の会員の状況としては、看護師として病院で看護師の育成に携わる者や管理職に就く者、大学の教員となる者と形は様々ですが会員が各分野で活躍している話を聞く機会が増加してきました。WWAMIナース研究会に所属する1期生のメンバーは看護部、看護学科と協力し「大学病院と地域中核病院との看護連携をめざした交流研修事業」を試みるなど、島根県内の医療連携にも取り組んでいます。さくら会は今後も深刻化している島根の医療者不足の問題も含め、地域医療の発展についても貢献していきたいと思ひます。

また、平成21年度の活動としては、出雲キャンパスの大学祭に合わせ2期生が中心となり骨髓バンク、輸血の登録の呼びかけを行いました。来年度は、新病棟の増築に合わせ「学内の緑化計画、散歩道づくり」を本格的に始動し、医学部附属病院の看護師募集の広報支援にも努めていきたいと企画しています。

平成22年度活動予定

- 平成22年5月役員総会
 - 平成22年6月～8月各支部総会
 - 平成22年10月 ホームカミングデー
- その他新病棟増築に合わせ、「学内の緑化計画、散歩道づくり」企画、医学部附属病院看護師募集の広報支援活動を行う予定です。



同窓会HP / <http://www.shimane-u-kango.jp/39.html>

同窓生からの近況報告

目標は母校で後輩に
看護の魅力を伝えること!

李 清華

島根医科大学看護学科1期



私は、東海大学病院高度救命救急センターに勤務し7年目となりました。救急は限られた少ない情報から評価し、短時間での判断を委ねられる事が多く、その判断は重要な責任を伴います。しかし頭で考えながら、同時に身体を動かす事が救急看護の特徴でもあり、自分に向いていると思います。また看護師は患者さんの弱さや痛みの部分に触れる事も多く、とても尊く貴重な仕事だと感じています。そして私の今の目標は救急看護認定看護師となり、母校である島根大学の学生に講義をし看護の魅力を伝える事です。

出雲に集いし、看護学科2期卒業生
～次世代の医療職候補者!?を連れて～

江藤 剛

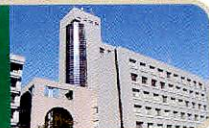
島根医科大学看護学科2期



私は、卒業後に附属病院精神科に勤務し、現在は大学に通いながら臨床看護学講座の助教として後輩達の育成に努めています。さて平成21年10月17日には玉造温泉にて看護学科2期卒業生の同窓会を開催しました。卒業1年目にも玉造温泉で同窓会を行って5年ぶりの島根での同窓会となりましたが、今回は同期生の子どもたちも参加してくれて楽しい時間を過ごしました。翌日はくえびご祭に足を運び、微力ながら献血とともに、大学祭に来ていた同窓生、在学生へ献血協力をお願いしました。採血してくれた看護師の一人も卒業生で驚きとともに後輩の活躍している姿を目の当たりにできて嬉しかったです。



総合理工学部同窓会



活動状況

総合理工学部同窓会では、総会を4年ぶりに島根大学ホームカミングデー（開学60周年記念大会）に合わせて開催しました。当日は東京支部の植田支部長を始め多くの会員が参加されました。その後開かれた懇親会には竹内総合理工学部長をお招きし、会員それぞれの近況を語り合い、親睦を深め楽しい一時を過ごしました。昭和28年に卒業された前田暁男氏（文理1期物理卒）からは、当時の大学生活を始め興味深いお話を聞かせていただきました。

また今回4年ぶりに同窓会名簿を発行しました。現在本同窓会会員数は一万人近くに達し、同窓生の皆さまは様々な分野で活躍されています。同窓会名簿が縁で、皆様方の絆がさらに深まることを願います。

なお今総会で文理学部、理学部そして総合理工学部と長年にわたり同窓会の発展にご尽力いただいた伊藤一義会長が勇退され、新たに春日邦宣会長（文理14期化学卒）と岡本信之副会長（文理17期数学卒）がそれぞれ選出されました。



総合理工学部同窓会 平成21年10月3日

平成22年度活動予定

- 平成22年5月
平成21年度卒業生の動向調査完了（同窓会名簿の基礎資料）
- 平成22年10月
総合理工学部同窓会茶話会の開催（ホームカミングデーと同時開催）
- 平成22年12月～23年3月
総合理工学部入学予定者への同窓会入会案内
- 平成23年1月
平成22年度卒業生の動向調査開始
- 平成23年2月～3月
総合理工学部同窓会理事会の開催

（島根大学ホームカミングデー（大学祭期間中）にあわせて、同窓生相互の親睦を深めるために総合理工学部同窓会茶話会を開催します。詳細が決まり次第、総合理工学部同窓会ホームページに載せますので、是非ご参加下さい。）



同窓会HP / <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/riko/index.html>

同窓生からの近況報告



広島同窓会活動報告

錦織 英機

文理・理14期（1966年卒）

広島市で建設コンサルタント業の会社を自営しております。最近では構造物基礎の耐震設計や既対策工の効果の検証をしています。こちらでも島根大学広島同窓会（法文、教育、総合理工、生物資源の4学部で構成）を3年毎に開催し、今回は2008年8月に第3回目を開催しました。私は総合理工学部卒業生のなかでは一番年長との理由で学部代表になり、自動的に全体の4人の副会長の一人になっています。総合理工学部卒業生は450人程度おられ、そのうち出席者は10数名といつもやや寂しい人数ですが、他学部の出席者が多く全体で70名位になります。学部間の違和感は全くなく、あの若かりし学生時代に比べて大いに意気が上がり、親睦を深め、実に和やかな楽しい時間を過ごしています。もっと多くの方とこの有意義な時間を共有したいと思い、若い人達と一緒に開催案内について工夫をしようと考えています。広島在住の卒業生の皆さんが各方面で活躍されていることが嬉しく、誇りに思っております。



その時を生きる

狩野 正文

文理・数18期（1970年卒）

昭和45年3月に数学科を卒業し、隠岐郡海士町立海士中学校教諭として学校教育に携わるようになった。その後、松江市立第三中学校教諭時代に社会教育主事の資格を取得し、通算15年間、県立青年の家、社会教育課、生涯学習課、生涯学習推進センターなど島根県教育庁職員として勤務した。再び学校現場に管理職として鰯淵小学校長、光中学校長、灘分小学校長を経て、38年間の教職を終えたが、地域の方々の要請や支援を受け、灘分コミュニティセンター長そして出雲市議会議員に転進することとなった。数学の教員としての自負を抱きながらもその時々の職に一生懸命取り組んだことが、今日の姿と思っている。数学を通して鍛えられたことが、他分野での仕事にも大きく役立っていると思っている。（出雲市議会議員）

生物資源科学部同窓会



活動状況

生物資源科学部同窓会では、主な活動として公開講座を開催いたしました。この公開講座は同窓生の成果を社会に還元し、同窓生どうしの交流を深める目的で開催することになった企画です。今年度は講師として同窓生である前重道雅先生（元・広島県立農業技術センター所長）をお招きして、『「街道を往った西条柿」～古木群は遺った！ 尼子毛利戦争～』と題してご講演いただきました。当日は県内外からたくさんの方に来ていただき、先生の講演を聞いていただきました。その後開催した交流会では同窓生との昔話に花が咲き親睦が一層深められていました。その他、今年度は評議員増員による同窓会の体制強化や島根大学主催のホームカミングデーにおいて協賛事業を行いました。



島根大学 生物資源科学部同窓会 卒業生公開講座
講師：農学博士 前重道雅 講演題目：＜講演題目＞街道を往った西条柿文化話
※：松江テルサ 4階 大会議場 平成22年6月27日（土）

平成22年度活動予定

1. 公開講座の開催
講 師 寺井敏夫氏
開催日時 平成22年6月19日（土）
開催場所 松江テルサ大会議室
2. 生物資源科学部同窓会評議委員会の開催
6月及び10月に開催予定
3. ホームカミングデーでの協賛事業の開催
平成22年10月9日（土）開催

島根大学生物資源科学部同窓会



同窓会HP / <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/life/index.html>

同窓生からの近況報告



“ボケ防止” 実践中

鎌田長一郎

島根農科大学農学科9期（1963年卒）

昭和三十八年、宍道湖が全面凍る豪雪の春農大を卒業。四年間、商社、国家公務員をえて五年目に島根県農林水産部に入り、今年が退職後十年目になります。私は再就職は全て断り“ボケ”防止と体力維持のため三つのことを現在実行中です。

一. 日本百名山（深田久弥氏（選定））への挑戦

若い内にと六年間で八十九山登頂、あと一～二年で成就と思っていましたが、七年目に地元のJAより要望があり現在在職中（主な仕事は地元の有線テレビの園芸番組を自作自演で三年目進行中他研修会・講演会）。日本百名山今年中に達成予定。

二. 無農薬有機野菜栽培への挑戦

約二〇〇坪の荒地の開拓から始まる。最初の二年間は暗き排水施設の穴掘り、現在も石ひろい、堆肥作り。四年目次からなんとかそれらしき物ができる。現在、年間約三十品目を栽培。皆様によこんでもらっています。尚、テレビの撮影もこの畑でやっています。

三. 書道に挑戦

県に在職中、記念碑の揮毫を頼まれ、あまりにおそまつな字なので、それをきっかけに約一五年続いています。

書は“暇つぶし”と“精神統一”に良いように思います。

“やりがいがある” “頭を使う” “体を使う” この三点セットで年を取っても人のお世話にならぬように、これからも頑張ろうと思っています。尚、百名山達成後は四国八十八ヶ所を歩こうかと思っています。

旧制松江高等学校同窓会

活動状況

1. 会議・集会

全国各地の支部から選出された理事による全国理事会を年1回東京、大阪、松江の3箇所のうちから、持ち回りで開催する。
本年は松江で開催。

2. 同窓会員との連絡、情報交換

松江の同窓会本部から、同窓会機関紙「翠松」を年3回発行し、各支部活動の状況、会員の動静、消息、会員の旅行記、会員の文芸作品の発表、あるいは各期クラス会の報告等を掲載する。

3. 同窓会本部の活動

21年度には、定例の会議、機関誌の発行などの業務とともに、第13回松江寮歌祭を開催した。
全国から30近い旧制高校、大学予科の卒業生200余名が集まり各校が誇りとする寮歌を熱唱交歓した。



松江寮歌祭

平成22年度活動予定

1. 定例の会議・集会等

同窓会全国理事会を4月に松江で開催する。各支部では、支部の実情に応じて独自の企画で集会その他の行事を行う。

2. 機関誌「翠松」の発行（年3回）

後継者のない旧制松江高校の場合、同窓会の高齢化に伴う会員数の減少は免れない。既に1,000人弱となった同窓会の深い松江への郷愁と、強い母校愛を、力強く表現し交歓するメディアとなっている。

3. 寮歌祭活動

青春時代への回帰の縁（よすが）となっている旧制高校の寮歌は、全国各地の寮歌祭となって開催されている。

松江高校同窓会が主催する第14回松江寮歌祭は、4月10日に全国から猛者連中を集めて華々しく開かれる。

同窓生からの近況報告

手造り茶室「翠松庵」

中川十四春

27期文甲（昭和25年卒）

私は中国の地に生まれ、育ちは満州です。戦後シベリアから復員して、初めて日本の土を踏みました。

母は松江の人で、幼い頃から松江の話をよく聞かされました。松江の殿様 不昧公のことや、松江では茶道が盛んなことから、旧制松高を卒業した後、社会に出てからも茶道に心



茶室「翠松庵」

酔し、裏千家に弟子入りして茶の道を学んできました。その後も勉強を重ねまして、「茶道の神髄は茶室にあり」と悟りました。京都の国宝重文級の茶室をめぐり、ついに自力で茶室を造ろうと決意しました。必要な材料を集め、大工左官塗装などの仕事を、全て独力で55歳から1年半、実働80日かけて完成しました。

出来上がった茶室に、千家今日庵を模して「翠松庵」と名付け、毎年茶会を開いています。

初心のお方をお招きし、茶道や日本の心の話をさせて頂いております。その「翠松庵」も築後30年近くなりましたが、阪神大震災や幾度かの大風に耐えて、今も毅然と立っております。

（九大法卒（有）中川企画代表取締役）

医学部附属病院開院30周年記念式典を挙行政

9月30日(水)、出雲市内のホテルにおいて、医学部附属病院開院30周年記念式典を挙行政し、長岡秀人出雲市長を始め行政、医療関係者ら150名が出席しました。

式典では、今年医療交流協定を結んだ中国・寧夏医科大学から楊銀学附属医院長ら4名もお招きしました。

式典の冒頭、山本学長が「医学部附属病院は我が国初の生体肝移植等の新たな医療の提供など、時代や地域の要請に応えるべく、様々な取り組みを行ってきた。」と30年を回顧し、「これからも常に高度な医療を提供できるよう、取り組んでいく。」と決意を述べました。

続いて、長岡秀人出雲市長及び楊銀学寧夏医科大学附属医院長から祝辞が述べられ、附属病院の開院30周年を祝うとともに、今後の地域医療の発展及び寧夏医科大学附属医院との交流に期待が寄せられました。

引き続き、小林病院長から、2011年に完成予定の附属病院新病棟等の紹介が行われたほか、寧夏医科大学附属医院との医療交流について紹介があり、附属病院の高度医療の発展と両大学間の医療の更なる交流を願いました。

式典後の祝賀パーティーでは、小林病院長の挨拶、錦織厚雄島根県健康福祉部長及び江田小鷹島根大学医学部支援協議会会長からの祝辞に続き、佐々木雄三島根県議会がん対策推進議員連盟会長の発声で乾杯。和やかな雰囲気の中、開院30周年を祝いました。また、最後に行われたアトラクションでは、出雲地方の郷土芸能「安来節」が披露され、会場は大いに盛り上がりしました。



左から、楊銀学寧夏医科大学附属医院長、藤京寧夏医科大学対外合作交流処処長、小林病院長(祝賀パーティー)



国登録文化財「島根大学旧奥谷宿舎 (旧制松江高等学校外国人宿舎) 竣工記念式典

10月21日(水)に、島根大学旧奥谷宿舎(旧制松江高等学校外国人宿舎)の修復完成を祝し、記念式典が行われました。

当日は、爽やかな秋晴れの中、山本学長の挨拶に始まり、続いて松浦正敬松江市長からお祝いの言葉をいただき、学外からの来賓者23名と共に完成を祝いました。

現在では旧制松江高校から現在までの島根大学の歴史や宿舎に暮らした先生方、島根大学に縁のある方々を顕彰する展示や、小規模セミナー、研修会、公開講座などの開催、市民のみなさんや学生、留学生等による様々な催しものなどに活用しています。

島根大学 大学ホール竣工

島根大学憲章に掲げる目標を達成するための一環として、学生の修学環境整備のための多目的ホールとして整備を進めていた島根大学ホールが完成し、10月1日に大学ホールオープニングセレモニーを実施しました。

このホールは旧教養講義棟1号館100番教室を取り壊し、鉄骨鉄筋コンクリート1階建て(一部2階)延べ床面積830㎡、席数380席の施設として新たに建設したものです。

なお、このホールの建設費等は、島根大学支援基金(島根大学ホール整備事業)や目的積立金によりご支援いただいたものです。



「指導教員と保護者との個別面談」を実施

【法学部・総合理工学部】

7月18日(土)に松江市内で実施しました。

個別面談には、全国から両学部合せて684家族、約1,000名が参加し、学業成績、学生生活、就職、進学などについて、140名の教員との間で情報交換が行われました。

この催しは、両学部の前身である文理学部の時代から40年にわたり両学部後援会の協力を得て実施しています。

希望により学生を含めた3者面談も実施され、参加者からは「本人の生活の様子を理解していただける方がいるということで安心した。」「成績を具体的に開示説明していただき、本人の頑張りの度合いがわかって良かった。」という感想が多く寄せられるなど、好評を得ています。



【生物資源科学部】

11月14日(土)に島根大学松江キャンパスにおいて実施しました。

この個別面談は、生物資源科学部後援会との共催による本学部初めての企画で、全国から161家族、約240名が参加し、学業、進路、生活などについて55名の教員との間で面談が行われました。

面談を受けられた保護者の方からは「子どもと離れて暮らしているので、本人の大学での様子が聞けて安心しました。」「大学の面談は地元ではめずらしく、意義の高いものだと思います。」「今後も毎年開催していただけるとありがたいです。」など、大変好評をいただきました。

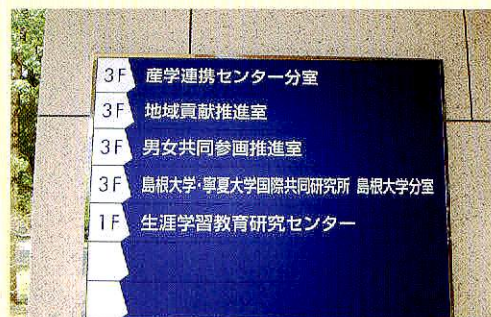


本学では、指導教員制度を設け、入学時から修学関係、学生生活の悩み事などに対する指導・助言体制を整え、学生一人ひとりに応じたきめ細かな指導を実施していますが、保護者との個別面談は国立大学では非常に珍しい企画であり、この面談による保護者との情報交換は、指導内容の充実を図る一助となり、大変有意義な会となりました。

地域貢献推進室を設置

7月1日付けで学術国際部研究協力課に「地域貢献推進室」を総合理工学部2号館3階に設置しました。

今まで、学術国際部研究協力課と学術国際部社会・国際連携課でそれぞれ行っていた社会連携・地域連携関連の事務処理を一元化し、業務の効率化を図ることを目的としています。



「ご協力ありがとうございました。」

島根大学支援基金にご寄附をいただいた皆様 (50音順) (平成21年3月～平成21年12月末現在)

※ご寄附をいただいた皆様のなかで「HP等への掲載を希望しない」とされた方は掲載しておりません。

＜法人等からの御寄附＞

島大教官OB会

＜個人からの御寄附＞

石田 一成	大村 光一	小林 昭生	妹尾 暢子	中尾 和子	裨田 正伸	前田 俊朗	山崎 稀嗣
市川 真澄	岡部 敦	坂本 雅邦	傍島 貫	永野 公	久恒 良一	前田 守康	横田 正秀
伊藤 浩世	奥 昌道	迫田 茂之	高橋 英二	鍋谷 悠	鑑元 豊美	松田 誠	横山 統農
伊藤 亮輔	落合 俊夫	佐々木 茂	高橋 ミチコ	西村 正隆	平川 正人	松本 次好	渡辺 勝芳
稲垣 豊	片山 信英	滝沢 昭宏	滝沢 昭宏	野津 哲朗	深田 伸太郎	三原 順子	渡邊 貞幸
上田 徹	角 敬	佐藤 勝彦	竹内 準治	秦 明德	福田 雅信	元上 竹松	渡辺 義雄
上村 真一	岸森 祐子	篠崎 學	戸谷 純久	林 清實	福本 貞雄	森川 裕司	
大下 誠	小池 良明	篠原 久子	飛田 憲彦	林 正久	藤原 史織	森田 知宏	
大谷 玲子	古浦 昌之	須藤 發夫	豊田 賢雄	原田 佳治	舟木 護	森竹 浩三	
大西 勝	小谷 哲也	瀬川 功太郎	鳥居 猛	原田 孝之	本田 雄一	森脇 公一	

(敬称略)



竣工した島根大学ホール



SHIMANE
University

人とともに 地域とともに

国立大学法人

島根大学



島根大学同窓会連合会